

**2004 年 11 月日语三级笔译实务试题****试题部分：**

一、次の日本語の文章を中国語に翻訳しなさい。(60 分)

**文章 1 (35 分)**

これまで見てきたように、技術開発の現場では、進むべき方向について五里霧中の状態にあり、その意味で研究開発を進めるうえで不確実性は不可避である。

それは、可能な選択肢が明確に定義され、そこから何らかの基準にあてはめて最適なものを選んでいくといったものではなく、開発しながら学習していくプロセスである。ここでは、技術的条件とともに社会的要素が技術選択に大きな影響を及ぼす。またこの過程では科学が技術開発の種の供給とともに問題解決に大きな役割を果たす。こうした点は企業の技術開発のあり方や、技術にかかわる国の政策、制度にも重要な含意を持っている。

企業のイノベーション・マネジメントには、日常的な企業のマネジメントとは異なる知識とスキルが必要となる。「技術と市場と組織の変化のマネジメント」でなければならぬ。この三つの変化を統合的に管理していくことこそがイノベーション・マネジメントである。組織構造や企業文化を変えるだけではなく、企業の内部と外部との結びつき方のデザインを考えることが重要である。

技術にかかわる政策、制度の立案や設計も、イノベーション・プロセスのこうした性質の理解の上に立つべきである。研究開発が不確実性に満ち、需要の変化などの社会的要因の影響を受けることから、長期的には市場機能を重視した技術の開発が結局は有効になる。不確実性は市場機能を通じて分散させる、需要の動向は市場に聞く、ということが重要である。

政策や制度は、個々の技術の振興策などミクロ的な対応に終始するのではなく、市場におけるイノベーション・プロセスがより効果的に機能する土壌づくりに留意すべきである。科学的な研究を公的に支援し、科学的知見が豊富に生まれ、またその成果が広く利用される仕組みをつくることが何より重要である。

米国において、トランジスタ、遺伝子組み換えのような基盤的技術が結果的に安いライセンス料で誰にでも利用できたということ、大学に公的な資金が十分投入され、科学的知見と人材が多く生み出されたことが、エレクトロニクス産業、バイオ産業の発展の基礎となったことを銘記すべきであろう。

**文章 2 (25 分)**

人生は山あり谷ありだから、山があればいずれ谷が来るし、谷があればいずれ山が来る。たとえ谷に落ち込んでも慌てず、自然の成り行きとして谷を脱することができるだろうと、時を待っていればやがて山を迎えることができる。泰然としていればいいのである。



ところが、人はそう楽観的に生きることができない。谷に落ち込むと追い詰められた気分になって、つい神に頼りたくなる。藁にもすがりたい気持ちに追い込まれるのだ。やがて、時の流れとともに、谷の時期が去って山の時期がやってくるのだが、それを頼んだ神のお陰だと信じ込んでしまうことになる。そこが、怪しげな宗教のつけ目なのである。

皮肉な言い方をすれば、不調のときの神頼みは必ず効き目があるのだ。人は、好調のときは神頼みせず、不調のときに神に頼ろうとする。何もせずにしても、そのうちに不調は去って好調が戻ってくるのだが、焦って神に頼ってしまうのだ。そして好調が戻ると、いかにも神に頼んだから幸運が訪れたと誤解してしまう。人が宗教や占いなどに囚われるのは、このような誤解のためである。その意味では、幸運グッズを考え出した人間は、人の心理を読み解く達人であつたと言ふべきだろう。ほんの小銭で幸運が買えたと誤解し感謝までしてくれるのだから。

好調のときはやがて不調も来ると心を引き締め、不調のときはいずれ好調が戻ってくると楽観的に生きる、それが山あり谷ありの人生の鉄則ではないだろうか。かく言う私だとて、言うは易し、行ふは難し、なのだけれど。

二、次の中国語の文章を日本語に翻訳しなさい。(40 分)

### 文章 3

58 歳の韩强是个农民，家中两儿一女都长大成人，外出务工，老两口小日子过得幸福美满。

韩大爷家的院子中央，是一块长方形的菜地，弄得有点像城里的花圃，菜地周边种了些花，菜地里种的是西红柿、青椒、小白菜等又好吃又好看的蔬菜。在菜地的一角，高高地竖着一块太阳能板，那是韩大爷在去年安装的。这小小的太阳能板，可以为家中的照明、电视、热水器提供能源。有了它，韩大爷不仅在偶尔停电时照旧看电视，而且每月至少还能节省 20 元电费，这让同村的乡亲们羡慕不已。

韩大爷算得上是村里的能人。不论种果树、养羊、养猪，样样都干得出色。最难得的是他乐于接受新事物。去年，他在自家的果园旁修建了个沼气池，沼气池上面盖猪圈，养了几口大肥猪。猪粪直接流入沼气池。经过发酵的猪粪为果园提供有机肥料，产生的沼气则通过管道接入自家厨房里的沼气灶，如同城里人家的管道煤气一样方便、清洁。

韩大爷的家地处山脚下，主要劳作以种植果树为主。由于当地特殊的地理环境，昼夜温差大，生产的苹果、葡萄、梨等味道极好。近几年，每到夏秋时节，总会有城里人到此地避暑，或采摘果品或品味山野情趣，旅游业自然而然就成了家里一项可观的收入。



## 答案部分：

一、次の日本語の文章を中国語に翻訳しなさい。(60分)

### 文章1 (35分)

像以往我们看到的那样，在技术开发的现场，关于应该向何方推进技术开发，如坠五里雾中，从这个意义说，在推进研究开发方面，不确定性是不可避免的。

研究开发无法给可以作出的选择下一个明确定义，套用某种基准，从中挑选出最佳方案，而是一个边开发边学习的过程。在此，除技术条件以外，社会的因素也会对技术的选择产生巨大影响。另外，在这个过程中，科学在给技术开发提供素材及解决问题方面发挥巨大作用。这一点在企业技术开发的应有状态，以及与技术相关的国家政策、制度上也有重要含义。

企业的革新管理中，需要有不同于日常企业管理的知识和技巧。它必须是对技术、市场和组织的变化的管理。统一地管理上述三个变化才是革新管理。不仅仅是改变组织结构及企业文化，思考如何把企业内部和外部结合起来是重要的。

制定和设计与技术相关的政策、制度，也应该以了解革新过程这种性质为基础。因为研究开发充满不确定性，受到需求的变化等社会因素的影响，所以从长期来说，重视市场机能的技术开发最终是有效的。通过市场机能分散不确定性，从市场了解需求的动向，这是重要的。

政策及制度不应该始终从微观的角度采取措施，如只关注如何振兴每一个具体的技术等，应该注意创造使革新过程更有效地发挥机能的环境。从政府的角度支援科学的研究，建立能大量产生科学的见解，并能把其成果广泛利用的结构是最重要的。

在美国，从结果来说，现在任何人都可以用廉价的专利费使用半导体、基因重组那样的基础技术，政府向大学投入足够的资金，并在运用中采取竞争机制，产生了大量的科学见解，培养了众多人才，这些成了电子产业和生物产业发展的基础，这一点应该铭记。

### 文章2 (25分)

人生有高峰也有低谷，所以，如出现高峰，早晚要迎来低谷，如在出现低谷，早晚要迎来高峰。即便跌入低谷也不要慌张，心里想着作为自然趋势会脱离低谷的，只要等待时机，最终会迎来高峰。泰然处之就可以了。

但是人不能那么乐观地生活。一跌入低谷就感到没有出路了，不由自主地就想乞求神灵保佑。陷入连一根稻草都想抓住不放的境地。最终随着时间的流逝，低谷的时期过去，高峰的时期到来，但是人却深信这是因为乞求神灵保佑的结果。这正给了邪教以可乘之机。

用一种讽刺的说法就是，临时抱佛脚必定管用。人在顺利的时候不去求神，而当不顺的时候就想去求神灵保佑。即便什么也不干，过一段时间不顺就会过去，顺利的时期就会到来，但是人却急于去拜神。如果变顺了，他就会误认为多亏求神保佑才时来运转。人之所以迷信宗教及算命等，就是因为有这种误解。从这个意义说，想出吉祥物主意的人应该说是掌握人



心理的高人。因为他能让人误以为花点小钱就买来了幸运，甚至还感谢他。

顺的时候告诫自己早晚还会有不顺的时候，不顺的时候想着顺的时候早晚会到来，乐观地生活，这才是有高峰也有低谷的人生法则。话虽这么说，对我来说也是说起来容易做起来难。

二、次の中国語の文章を日本語に翻訳しなさい。(40 分)

### 文章 3

58 歳の韓強さんは、農民である。息子 2 人と娘 1 人はすでに成人し、働きに出ていて、老夫婦は幸せな毎日を送っている。

彼の家の中庭のまんなかには、都市の花壇のような長方形の菜園がある。野菜ばたけを囲むように季節の花が植えられ、菜園にはトマト、ピーマン、コマツナなど、見た目も味も良い野菜が植えられている。菜園の一角には、韓さんが昨年に取り付けたソーラーパネルが高く直立している。この小さなパネルが、家の照明、テレビ、湯沸し器のエネルギー源となり、たまに停電した日でもテレビを観ることができる。しかも、毎月少なくとも 20 元の電気料金の節約となり、村人たちから羨望のまなざしで見られている。

韓さんは、村でもやり手のほうだ。果樹栽培、羊や豚の飼育など、何をやっても人よりすぐれている。特にすばらしいのは、新しいものを進んで取り入れることだ。彼は昨年、自家の果樹園の横に、メタンガス発酵槽を建造し、その上に豚小屋を作り、数頭の豚を飼った。豚のふん尿がメタンガス発酵槽に直接流れ込むしくみで、ふん尿はやがて発酵し、果樹園の有機肥料となる。また同時に発生する可燃性のメタンガスはガス管で自宅の台所のメタンガス焔炉に送られ、都市ガスと同じように便利でクリーンなエネルギーとなる。

韓さんの家は山のふもとにあり、主に果樹栽培を業としている。昼夜の気温差が大きい特殊な地理的環境のため、ここで栽培されるリンゴ、ブドウ、ナシなどの果物はきわめておいしい。ここ数年は、夏から秋にかけて、都市から避暑や果物狩り、グリーンツーリズムに出掛ける人が増え、観光業が知らず知らずのうちに、家のかなりの収入源になった。